

UNAIDS (国連エイズ合同計画) 出張報告

2000年2月末から3月末までスイス・ジュネーブにあるUNAIDS本部に派遣され、UNAIDSと世界保健機関(WHO)のワーキンググループによる世界のHIV/AIDS感染者数の推計にtemporary adviserとして参加協力した。1998年6月公表の報告書の作成では当時の最新データにもとづいて国別モデルを作成し推計を行なったが、それ以降公表されている「アップデート」では基本的にそのモデルの外挿によって感染者数の推計が行われてきた。本年は、来たる7月に南アフリカで開催される国際エイズ会議で公表される報告書のために、最新のデータにもとづいて世界各国の感染者の再推計を行なった。途上国の乳児と5歳未満年少者の死因の分析に役立てるために、この推計結果にもとづいてHIVに感染している乳児と年少者の死亡数の推計も行った。また、国連の世界人口推計1998年改訂で前回のHIV/AIDS感染者推計が使用されたように、今回の推計結果はおそらく次の世界人口推計においても使用されるであろう。

今回の推計値の詳細は本年7月公表予定の報告書に譲るが(<http://www.unaids.org>から国際エイズ学会以降入手可能となるはずである)、今も世界のHIV/AIDS感染者数は増加しつづけていて、とりわけサハラ以南アフリカの多くの国での状況はきわめて深刻であることを強調したい。また、アジアの多くの国では爆発的流行がまさに始まろうという状態の国も多い。ただし、サーベイランスや疫学調査の改善の結果、例えば農村地帯の有病率が以前考えられていたよりも低いことが明らかになるなどして、感染者数の推計が下方修正された国もある。このような事態は限られたデータにもとづいて推計しなければならない現状では不可避でもあり、今回の報告書では推計値の上位と下位の範囲を示すことが予定されている。

(小松隆一記)